

取扱説明書

ELECTRIC CAFE KETTLE

電気カフェケトル

品番

AKE-272



- この度は本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
ございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 取扱説明書及び保証書は大切に保管し、いつでも見られる
ようにしてください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

ご使用にあたって	1
安全上のご注意	2-3
各部のなまえ	4
ご使用方法	5-7
お手入れ	8
故障かな?と思ったら	
製品仕様	9
アフターサービス	10
保証書	裏表紙

保証書付

この取扱説明書（裏表紙）には保証書が
ついています。必ず捺印をお受けください。

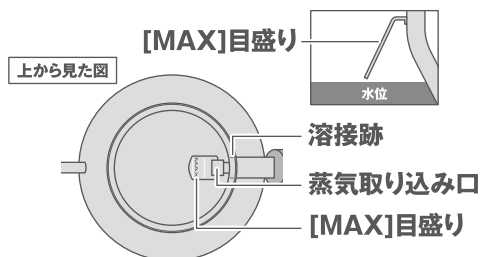
この製品は日本国内でのみご使用になれます。

This appliance is designed for domestic use in Japan only
and can not be used in any other country.

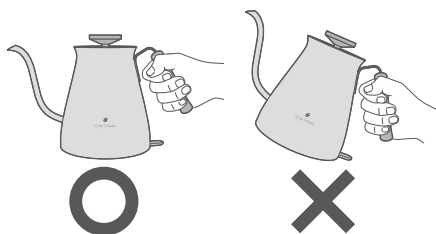
ご使用にあたって

⚠ 安全上のご注意

水を入れすぎない



本体を手前に傾けない

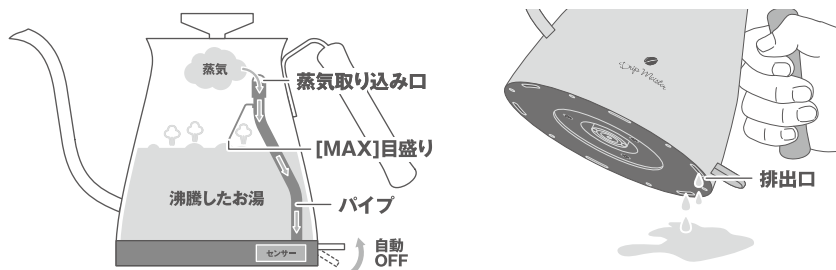


[MAX]目盛りを超えた量の水を入れて使用したり、本体を手前に傾けたりすると蒸気取り込み口から大量の水(お湯)が入り、故障や、排出口からこぼれたお湯でやけどをする恐れがあります。水位は必ず[MAX]目盛り以下で使用し、本体を移動するときは水平を保った状態で製品をお持ちください。

※本体内部ハンドル裏側の線はステンレス溶接の跡です。洗浄しても落ちませんが、衛生上問題はありませので安心してご使用ください。

⚠ 本製品について

水を逃がすための構造です。故障ではありません。



本製品は、蒸気取り込み口から蒸気がパイプを通ることで沸騰を感知し、自動でスイッチがオフになるしくみです。

使用中まれに、室温や水温により蒸気量が多くなり、水分が凝縮し結露することで、本体底面部の排出口から水(お湯)が排出される場合がありますが、結露した水が溜まらないようにする構造によるものです。故障ではありません。

安全上のご注意

必ずお守りください!

ご使用になる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

以下の注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすることにより生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

本製品は湯沸かしを目的として一般家庭用に生産された製品です。
これ以外の用途では使用しないでください。

警告

- 本製品は修理、分解、改造を絶対にしないでください。
発火したり、異常動作で感電したり、けがをする恐れがあります。
- 水平でない場所や不安定な場所、振動のある場所や棚の上、水で濡れている場所で使用しないでください。
本体が落下・転倒して故障・事故の原因になります。
- 身体の不自由な方や小さなお子様だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。
やけど・感電・けがをする恐れがあります。
- 浴室や屋外など、水のかかる場所では使用しないでください。
製品内部に水が入り、漏電して感電・ショートする恐れがあります。
- 注水やお手入れの際に電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・ショートする恐れがあります。
- 本体の底部や電源ベース、通電部を水で濡らさないでください。
感電・ショートする恐れがあります。
- 付属の電源ベースやふた以外を使わないでください。また、付属の電源ベースを他の機器に使わないでください。
火災・事故・故障の原因になります。
- 本体を直火・電磁調理プレート(IH)・電気ヒーターの上に置いたり、電子レンジに入れないでください。
故障・事故・火災の原因になります。
- 動作に異常が生じた場合は直ちに使用を中止してください。
感電・ショートする恐れがあります。電源プラグを抜き、弊社アフターサービスにご連絡ください。▶10ページ参照
- 電源プラグは確実に根元まで差し込んでください。
感電や火災の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグにさわらないでください。
感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり重いものを載せたり、たばねたりしないでください。
傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。
- 電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
感電や火災の原因になります。他の器具と併用すると、分岐コンセント部分が異常発熱して発火することがあります。
- 海外では使用しないでください。
日本国内のAC100V電源以外で使用すると、感電や火災の原因になります。
- お手入れするときや、長時間使用しない場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、ぬれた手で抜き差ししないでください。
感電・ショート・けがの原因になります。

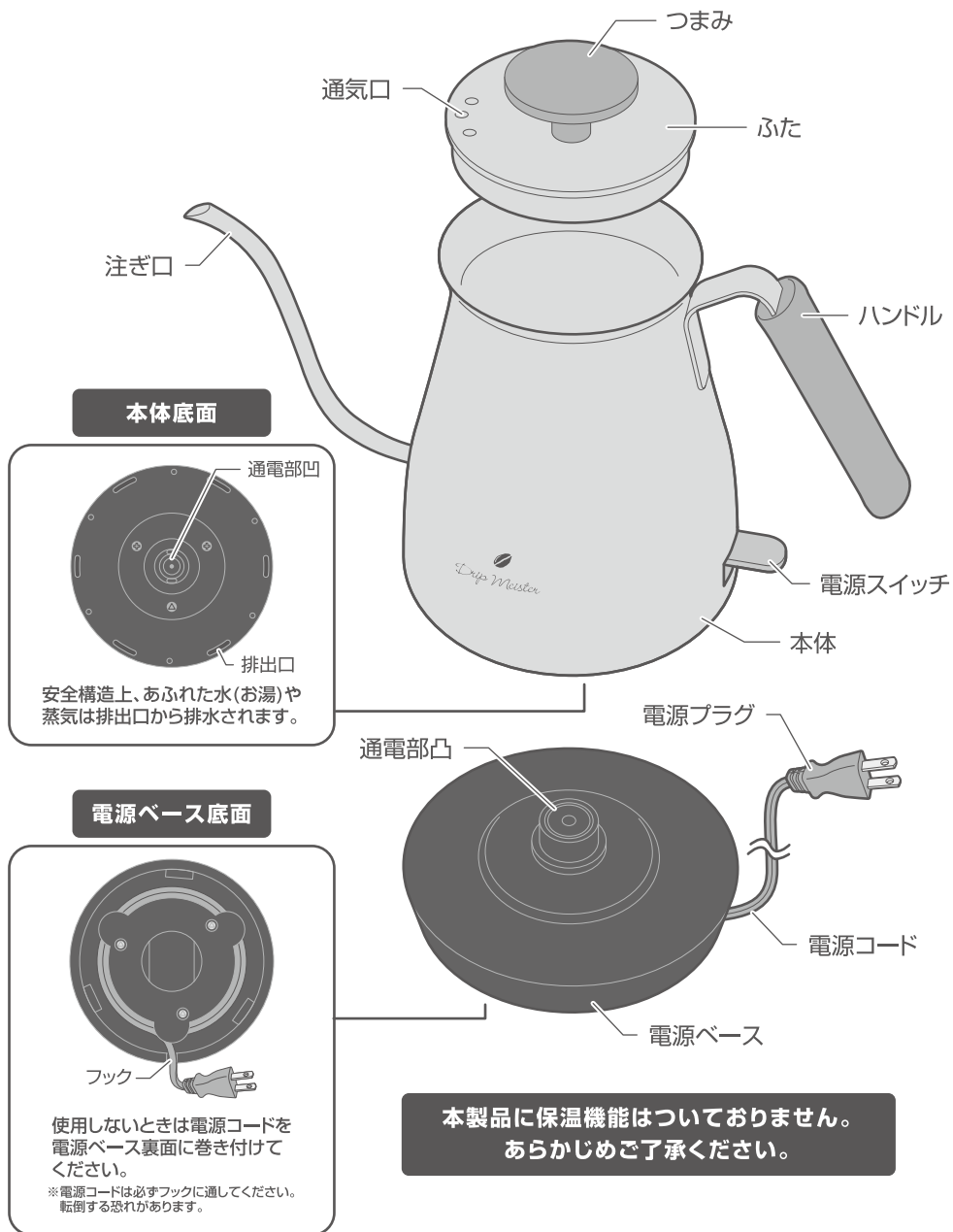
安全上のご注意 (つづき)

必ずお守りください!

⚠ 注 意

- 水を入れないまま本体を加熱しないでください。
故障・変形の原因になります。
- 必ず150ml以上水を入れてご使用ください。
自動電源オフが正常に作動せず、故障・事故の原因になります。
- 水以外のもの(牛乳・お酒・ジュースなど)を入れないでください。
故障の原因になります。
- お湯を沸かす以外の使い方をしないでください。
故障・事故の原因になります。
- 布類・紙類やプラスチックなど熱に弱いものの近くで使用しないでください。
シミ・変形・火災の原因になります。
- 業務用として使用しないでください。
本製品は一般家庭用です。
- たたいたり、落としたり、強い衝撃をあたえないでください。
故障・けがの原因になります。
- 本体を屋外で使用したり、冷蔵庫や冷凍庫に入れないでください。
故障の原因になります。
- [MAX]目盛り以上の水を入れないでください。
お湯の吹きこぼれや、排出口から排水されたお湯によるやけど、故障・事故の原因になります。
- ふたをしないままお湯を沸かさないでください。
お湯が吹きこぼれて、やけどをする恐れや、自動電源オフが正常に作動せず、故障・事故の原因になります。
- 加熱中に注ぎ口や通気口をふさがないでください。
お湯が吹きこぼれて、やけどをする恐れや、故障・事故の原因になります。
- 加熱中や加熱後にベースと一緒に本体を移動させないでください。
お湯がこぼれて、やけどをする恐れや、故障・事故の原因になります。
- 蒸気の出ている注ぎ口や通気口に手や顔を近づけないでください。
やけどをする恐れがあります。
- 加熱中や加熱直後はハンドル以外(とくにステンレス部分)には触れないでください。
やけどをする恐れがあります。
- ふたを持って本体を移動しないでください。
ふたが外れてお湯がこぼれ、やけど・けがをする恐れがあります。
- お手入れは本体が冷めてからおこなってください。
使用直後のステンレス部分に触れるとやけどをする恐れがあります。
- 連続で使用するときは本体やふたが冷めてからご使用ください。
やけどをする恐れがあります。
- 食器洗浄機を使用して洗浄しないでください。
故障・変形の原因になります。
- 本体に水(お湯)を入れたまま、放置しないでください。
変色・変形・腐敗の原因になります。
- 長期間使用しない場合は各部を清掃し、十分乾かしてから保管してください。
残留物による変色・変形の原因になります。
- 漂白剤・塩素系洗剤などを使用して洗浄しないでください。
変色・腐敗する恐れがあります。
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端のプラグを持って引き抜いてください。
電源プラグのホコリなどは定期的に取り除いてください。
感電・ショート・発火の原因になります。

各部のなまえ



ご使用方法

1. ご使用前に

本体は水かぬるま湯でよくすすぎ、ふたは台所用中性洗剤でよく洗ってください。
一度水を[MAX]目盛りまで入れ、お湯を沸かし、注ぎ口から全てのお湯を捨ててください。

▲ 注意

- はじめのうちはお湯が臭うことがありますが、故障ではありません。数回使用すると臭いはなくなります。
- 臭いが気になるようであれば、お湯を沸かし注ぎ口から捨てる動作を2～3回程度繰り返してください。

2. 本体に水を入れ、ふたをする

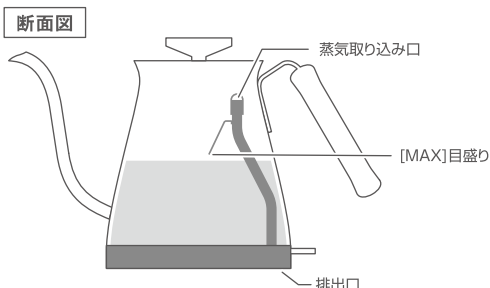
本体に水を入れてください。(最大[MAX]目盛りまで)
ふたは通気口が本体の注ぎ口側の位置になるようにセットしてください。

ふたは正しくセットしてください。



▲ 注意

- 水以外のもの(牛乳・お酒・ジュースなど)を入れないでください。
- 本体を電源ベースにセットしたまま水を入れないでください。
- 本体底面に水がかからないように注意してください。
- ふたをしないままお湯を沸かさないでください。
自動電源オフが正常に作動せず、故障・事故の原因になります。
- ふたが緩んでいた、正しくセットされていないと本体が転倒したときや注湯時にふたが外れお湯がこぼれて、やけど・けがをする恐れがあります。



▲ 注意

- [MAX]目盛りを超えた量の水を入れて使用したり本体を手前に傾けたりすると、蒸気取り込み口から大量の水(お湯)が入り、故障や、排出口からこぼれたお湯でやけどをする恐れがあります。水位は必ず[MAX]目盛り以下で使用し、本体を移動するときは水平を保った状態で製品をお持ちください。
- 水が少なすぎると(約150ml以下)自動電源オフが正常に作動せず、故障・事故の原因になります。

ご使用方法 (つづき)

3. 本体を電源ベースにセットする

通電部凹を通電部凸の位置に合わせて

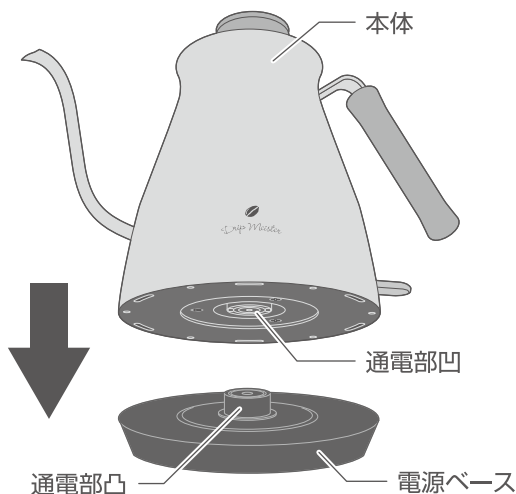
本体と電源ベースにすき間がないようしっかりセットしてください。

⚠ 警告

- 通電部には絶対に水をかけないでください。
感電・ショートする恐れがあります。

⚠ 注意

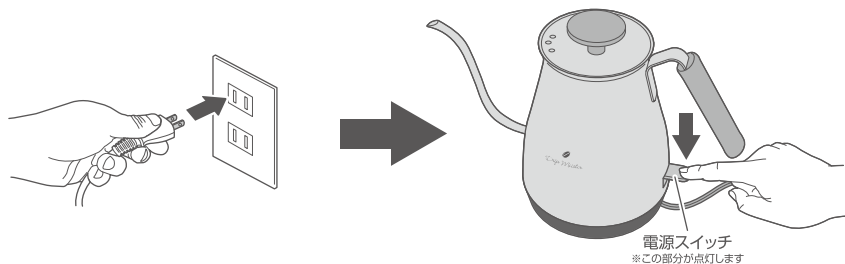
- 不安定な場所で使用しないでください。
- 他製品の電源ベースやふたを使用しないでください。
- 指を挟まないように注意してください。



4. 電源を入れる

電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを下げ、「ON」にします。

電源スイッチを「ON」にすると、電源スイッチのランプが白色に点灯します。



⚠ 注意

- 濡れた手で電源プラグや本体に触らないでください。
- 布類・紙類やプラスチックなど熱に弱いものの近くで使用しないでください。



ご使用方法 (つづき)

5. お湯を沸騰させる

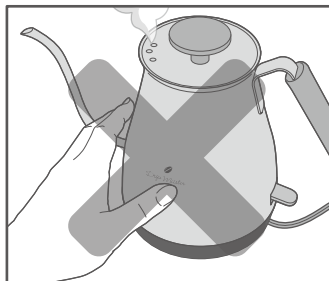
お湯が沸騰すると、「カチッ」という音とともに自動的に電源スイッチが「OFF」になり電源スイッチのランプが消灯します。



⚠ 注意

- 使用中は本体から「カチカチ」と音がしますが、金属部分の熱による膨張・収縮による音です。故障ではありません。
- 電源ベースから本体をはさず際は、必ずハンドルを持ってください。
- 沸騰直後に本体のふたを開けないでください。やけどの恐れがあります。
- 本製品に保温機能はついておりません。予めご了承ください。

🚫 高温注意



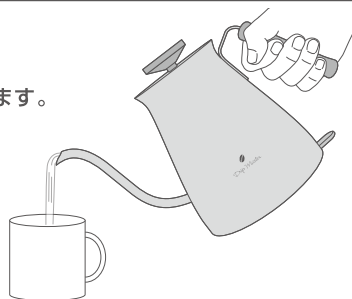
加熱中および加熱直後の本体ステンレス部分は非常に高温になります。やけどをする恐れがありますので絶対に触らないでください。

6. お湯を注ぐ

ハンドルを持って電源ベースから本体を取り外しお湯を注ぎます。

⚠ 注意

- 本体を傾けすぎないようにしてください。
- ステンレス部分は非常に高温になりますので、絶対に触らないでください。

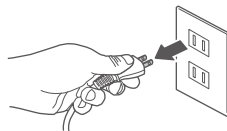


7. 使用後

使用後は余ったお湯を捨て、電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めてからお手入れしてください。

⚠ 注意

- 濡れた手で電源プラグや本体に触らないでください。
- お手入れは、必ず電源プラグを抜き本体が十分に冷めてからおこなってください。
- お手入れの際に本体裏面や電源ベースに水をかけないでください。



使用直後の本体は非常に高温になりますので、ご注意ください。

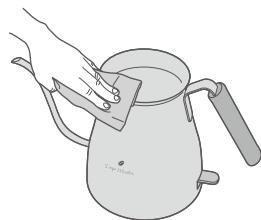
お手入れ

1. 本体、ふたのお手入れ

本体内部は水かぬるま湯を入れ、柔らかいスポンジなどで汚れを落としてからすすいでください。

本体外側は固く絞った布でよく拭いてください。

ふたは台所用中性洗剤でよく洗ってください。



⚠ 注意

- 本体やふたの縁を強く持ったり指をすべらせたりするとけがをする恐れがあります。
- 本体外側、底面を水で濡らさないでください。
- 本体内部の汚れ（白い浮遊物、虹色等の変色、白いはん点、赤さび状のはん点など）は本来水に含まれるミネラル成分の作用によるものです。衛生上問題はありませので安心してご使用ください。
- 汚れが目立ってきたら定期的にお手入れをおこなってください。

お手入れは本体が十分に冷めてからおこなってください。

2. 電源ベースのお手入れ

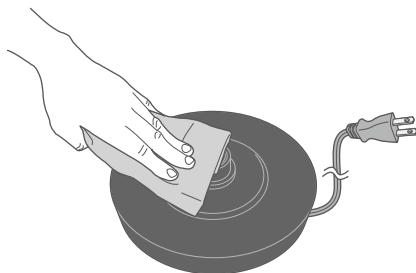
固く絞った布でよく拭いてください。

定期的に電源プラグにほこりなどがついてないか

電源コードにねじれがないかを確認してください。

⚠ 注意

- 電源ベース、電源プラグを水で濡らさないでください。



3. クエン酸洗浄

1～3ヶ月に1度、市販のクエン酸での本体内部洗浄をお勧めします。

- ① [MAX]目盛りまで水を入れ、クエン酸を約10g入れ電源を「ON」にします。
- ② 沸騰したら約1時間放置します。
- ③ 本体からお湯を捨て、本体内部を柔らかいスポンジなどでこすって汚れを落とします。
- ④ 本体内部をよく水ですすぎます。



※クエン酸の臭いが残る場合は水のみでもう一度お湯を沸かしてください。

長期間使用しない場合は、各部を清掃し、よく乾かしてから保管してください。

故障かな？と思ったら...

「故障かな？」と思ったときは、次の内容をお調べください。

状 態	点 検	処 理
お湯が沸かない 電源スイッチの ランプが点灯しない	電源プラグは正しく接続されていますか？	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	ブレーカーが落ちていませんか？	定格15A以上のコンセントを単独でご使用ください。
すぐに電源が切れる 電源スイッチの ランプが点灯しない	空だきしていませんか？	水を入れてご使用ください。
	水の量が少なくありませんか？	最低150mlの水を入れてご使用ください。
本体底面部の排出口から 水(お湯)が漏れる	安全構造上、あふれた水(お湯)や蒸気は本体底面部の排出口から排水されます。	故障ではありません。
お湯がふきこぼれる	[MAX]目盛り以上に水を入れていませんか？	正しい量の水を入れてご使用ください。
	水以外(牛乳、お酒・ジュースなど)を加熱していませんか？	水以外は加熱しないでください。
沸騰しても 電源が切れない	ふたはセットされていますか？	ふたがセットされていないと沸騰しても電源は切れません。
使用中に「カチッ」と キシミ音がする	熱による金属部品などの膨張・収縮によるものです。	故障ではありません。
お湯に白いものが浮く	本来水に含まれるミネラル成分の作用によるものです。	衛生上問題はありませので安心してご使用ください。

- 修理を依頼される際は、上記内容をご確認していただいてからご連絡ください。
- 上記内容を確認したうえで直らない、またはそれ以外の不具合がおこった場合は、弊社アフターサービス(10ページ参照)までご連絡ください。
- 安全に長くご愛用していただくために、日頃から点検をおこなってください。

製品仕様

品 番	AKE-272	外 形 寸 法	(約)W286×D144×H197(mm)
品 名	電気カフェトル	質 量	(約)0.9kg
定格電圧/周波数	AC100V 50/60Hz共用	電 源 コ ー ド	(約)0.75m
消 費 電 力	900W	材 質	本体:ステンレス(SUS304) 電源ベース、ハンドル、つまみ: ポリプロピレン
温 度 ヒ ュ ー ズ	172℃		
定 格 容 量	最大0.7Lまで		

- この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となりますので、ご了承ください。
- 仕様は製品改良のため、予告なく変更することがあります。

アフターサービス

アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。

1.修理を依頼される時

- * 保証期間中は、商品に保証書を添えてお買上げ販売店にご持参、または弊社に連絡ください。
保証書の記載内容により無料修理致します。
- * 保証期間が過ぎている時は、弊社に連絡の上、ご相談ください。
- * 保証書に所定の記入や販売店の印章がなき場合、又は語句を書き替えられた場合は、無料修理を保証することはできませんのでご注意ください。

2.補修用性能部品の保有期間

- * この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

3.保証書について

- * 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- * 保証期間はお買い上げから1年間です。

修理・部品購入のお問い合わせ

ご連絡していただきたい内容 ●品名 ●品番 ●お買い上げ日 ●販売店 ●故障の状況を具体的に

修理に関するお問い合わせ

0120-350352

部品購入に関する
お問い合わせ

0587-22-5353

インターネット販売
Website*<PC>

www.apix-direct.jp



2次元コード

営業時間：(平日) 月曜日～金曜日 ※祝祭日を除く
午前10:00～11:30 午後1:00～5:00

※混雑時には繋がりにくい場合があります。
繋がらない場合は下記番号におかけください。
予備回線:TEL.0587-38-5320

ご使用の回線 (IP電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

廃棄について

廃棄処分をされる場合は、お住まいの各自治体の定めた指示に従い、処分してください。
地球環境保護のため、不法投棄は絶対にしないでください。